

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2023年4月～6月期 NO. 71

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2023年4月～6月期の業況は9.8、前期比 8.5ポイントプラスと前期を上回りました。
来期は両地域とも前期を下回る見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

| 項目 | 全地域 | | | 姫路地域 | | | 神戸地域 | | |
|------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|---------------|-------------|-------------|---------------|
| | 2023年1月～3月期 | 2023年4月～6月期 | 2023年7月～9月期予想 | 2023年1月～3月期 | 2023年4月～6月期 | 2023年7月～9月期予想 | 2023年1月～3月期 | 2023年4月～6月期 | 2023年7月～9月期予想 |
| 業況 | 1.3 | 9.8 | 8.9 | 3.3 | 5.5 | 4.1 | ▲ 1.5 | 13.4 | 12.8 |
| 売上額 | 9.5 | 18.2 | 13.9 | 10.3 | 13.2 | 10.3 | 8.7 | 20.7 | 15.9 |
| 収益 | ▲ 1.8 | 7.3 | 5.8 | ▲ 5.9 | 2.9 | 1.8 | 0.0 | 11.6 | 8.0 |
| 販売価格 | 22.5 | 24.9 | 18.1 | 21.6 | 24.6 | 19.5 | 22.5 | 21.0 | 13.1 |
| 仕入価格 | 47.7 | 46.5 | 35.1 | 49.5 | 50.0 | 39.0 | 43.8 | 40.4 | 28.4 |
| 在庫 | ▲ 3.1 | 2.2 | 2.2 | ▲ 2.9 | 2.9 | 0.5 | ▲ 4.1 | ▲ 1.0 | 1.5 |
| 資金繰り | ▲ 4.3 | ▲ 2.8 | 26.3 | ▲ 1.8 | ▲ 2.2 | 27.9 | ▲ 4.3 | ▲ 1.4 | 23.6 |
| 人手 | ▲ 17.2 | ▲ 20.5 | ▲ 21.5 | ▲ 21.6 | ▲ 26.6 | ▲ 26.9 | ▲ 13.1 | ▲ 14.6 | ▲ 16.1 |
| 設備状況 | ▲ 8.4 | ▲ 10.3 | ▲ 10.6 | ▲ 7.4 | ▲ 10.3 | ▲ 10.0 | ▲ 7.9 | ▲ 9.0 | ▲ 10.6 |

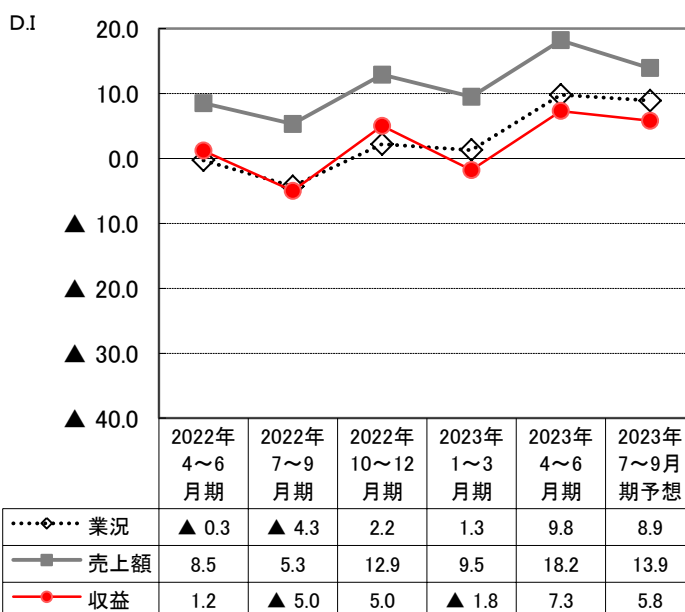
2023年4月～6月期実績

《 不動産業以外の業種で上向く 》
当期の全地域の全業況D.Iは9.8、前期比8.5ポイントプラスと前期を上回りました。全地域の業種別では、不動産業以外の業種において上向きました。

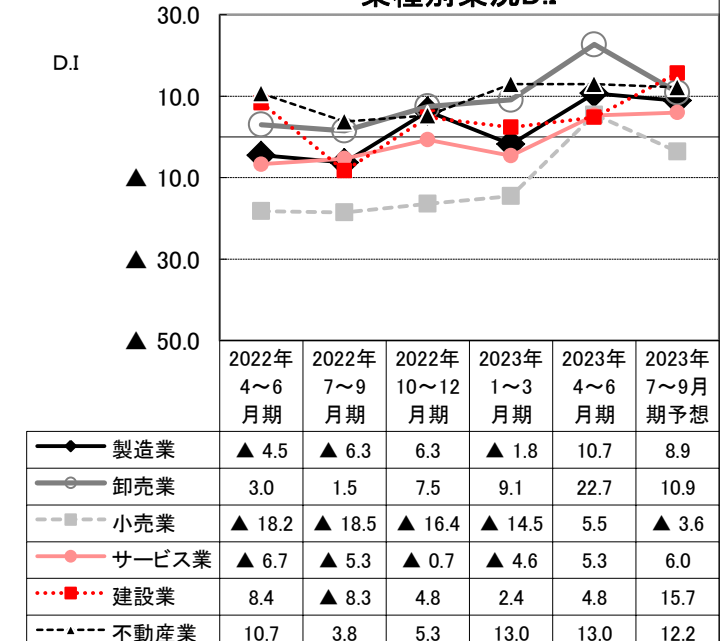
2023年7月～9月期見通し

《 両地域とも前期を下回る見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは8.9、当期比0.9ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。全地域の業種別では、サービス業、建設業において上向く見通しです。地域別では、両地域とも前期を下回る見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2023年6月上旬

3. 調査対象期間

2023年4月～6月期実績（2023年1月～3月期との比較）

2023年7月～9月期予想（2023年4月～6月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

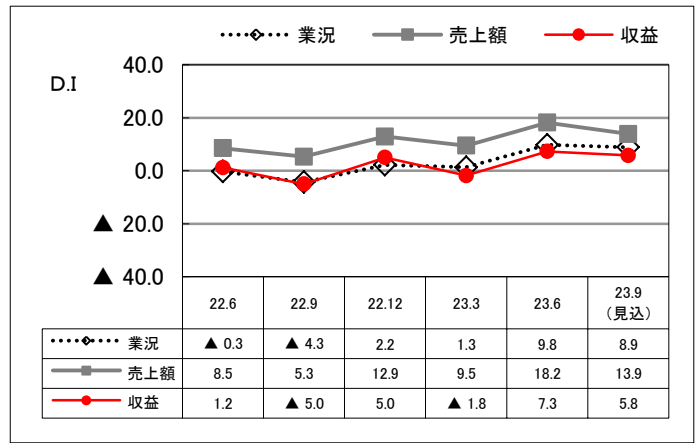
| | 依頼数 | 回答数 | 回答率 |
|-------|-----|-----|--------|
| 製造業 | 112 | 112 | 100.0% |
| 卸売業 | 67 | 67 | 100.0% |
| 小売業 | 55 | 55 | 100.0% |
| サービス業 | 151 | 151 | 100.0% |
| 建設業 | 84 | 84 | 100.0% |
| 不動産業 | 131 | 131 | 100.0% |
| 合計 | 600 | 600 | 100.0% |

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは9.8、前期比8.5ポイントプラス（前年同期比+10.1）と前期を上回りました。業種別では、不動産業以外の業種において上向きしました。

来期予想D.Iは8.9、当期比0.9ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。業種別では、サービス業、建設業において上向き見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは18.2、前期比8.7ポイントプラス（前年同期比+9.7）と好調さを強めました。業種別では、不動産業以外の業種において上向きしました。

来期予想D.Iは13.9、当期比4.3ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業において上向き見通しです。

3. 収益

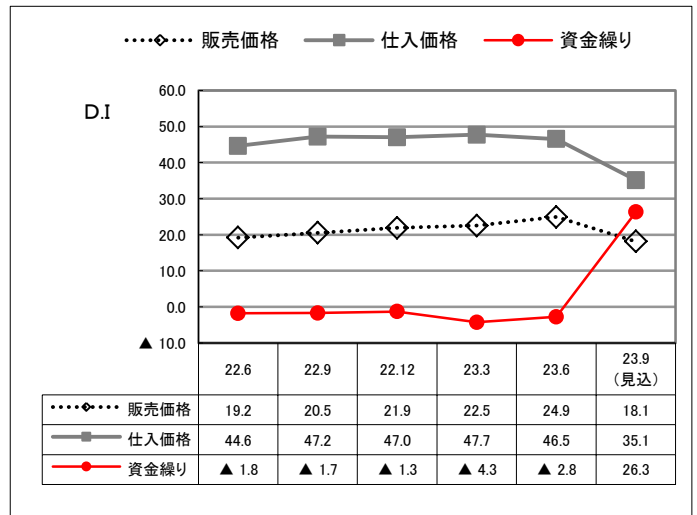
全業種における収益D.Iは7.3、前期比9.1ポイントプラス（前年同期比+6.1）と好転しました。業種別では、不動産業以外の業種において改善しました。

来期予想D.Iは5.8、当期比1.5ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、小売業、建設業において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲2.8、前期比1.5ポイントプラス（前年同期比 ▲1.0）と厳しさが和らぎました。業種別では、小売業以外の業種において和らぎました。

来期予想D.Iは26.3、当期比29.1ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは24.9、前期比2.4ポイントプラス（前年同期比+5.7）と上昇幅が拡大しました。

業種別では、製造業、サービス業、建設業において上昇しました。

来期予想D.Iは18.1、当期比6.8ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

6. 仕入価格

全業種における仕入価格D.Iは46.5、前期比1.2ポイントマイナス（前年同期比+1.9）と上昇幅が縮小しました。業種別では、建設業において上昇しました。

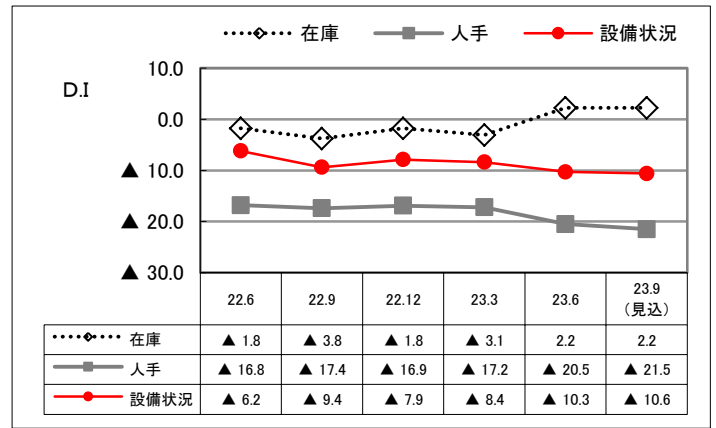
来期予想D.Iは35.1、当期比11.4ポイントマイナスとさらに上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D. Iは2.2、前期比5.3ポイントプラス（前年同期比+4.0）と在庫過剰に転じました。業種別では、卸売業で在庫過剰に転じました。

来期予想D. Iは2.2、当期と横ばいで推移する見通しです。

業種別では、製造業、卸売業、建設業で不足感が強まる見通しです。



8. 人手

全業種における人手D. Iは▲20.5、前期比3.3ポイントマイナス（前年同期比 ▲3.7）と不足感が強まりました。

業種別では、製造業、卸売業、サービス業、建設業で不足感が強まりました。

来期予想D. Iは▲21.5、当期比1.0ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。

業種別では、製造業、小売業、サービス業、建設業でさらに不足感が強まる見通しです。

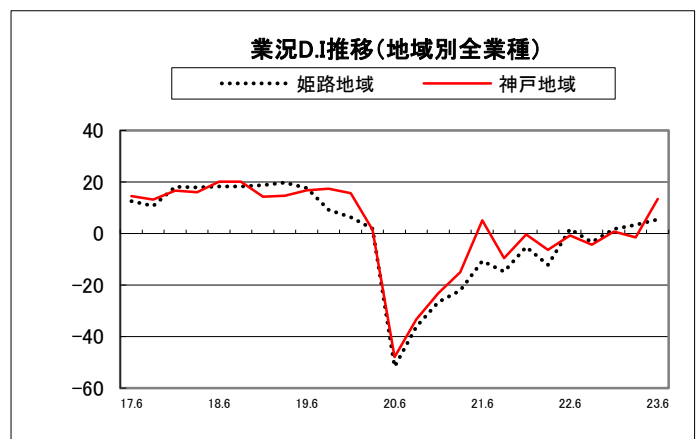
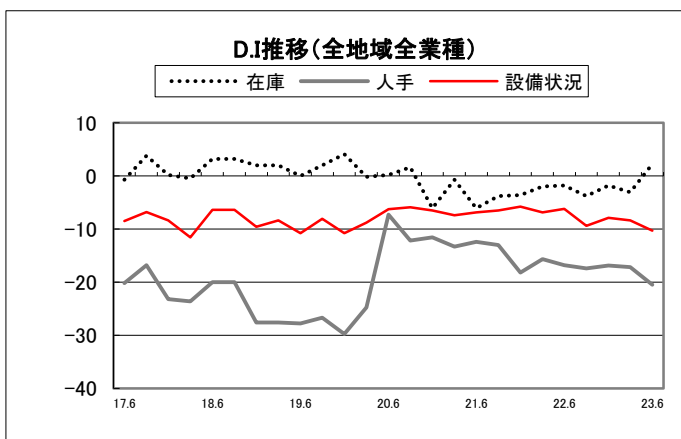
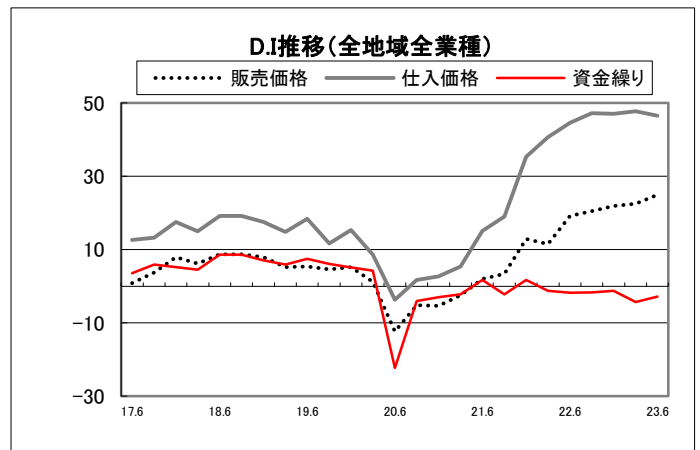
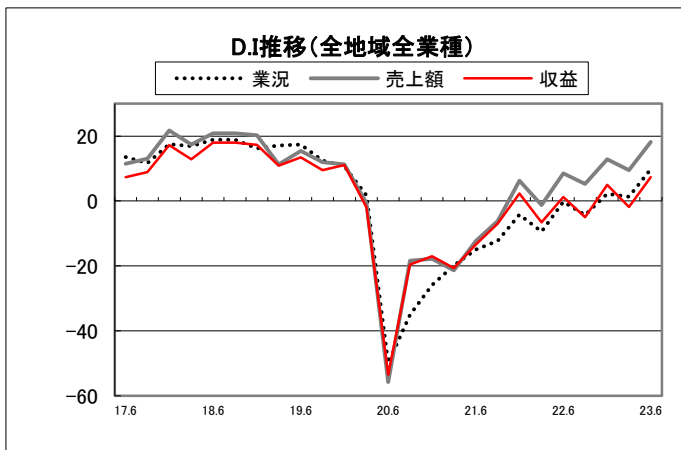
9. 設備状況

全業種における設備状況D. Iは▲10.3、前期比1.9ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.1）と低迷しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は34.3%、前期比3.4ポイントプラス（前年同期比1.7）と増加しました。また業種別では、製造業、小売業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は35.4%、当期比増加1.1ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D. I推移



1. 業況

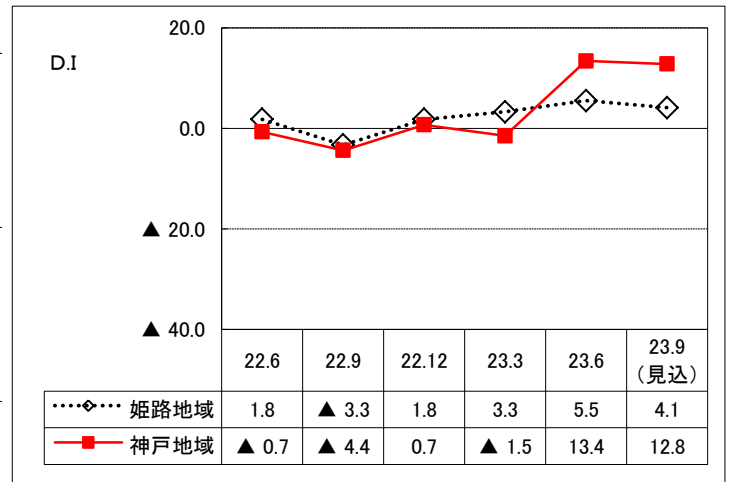
姫路地域の業況D. Iは5.5、前期比2.2ポイントプラス（前年同期比+3.7）と前期を上回りました。

来期予想D. Iは4.1、当期比1.4ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。

神戸地域の業況D. Iは13.4、前期比14.9ポイントプラス（前年同期比+14.1）と改善しました。

来期予想D. Iは12.8、当期比0.6ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも好調感が出ました。



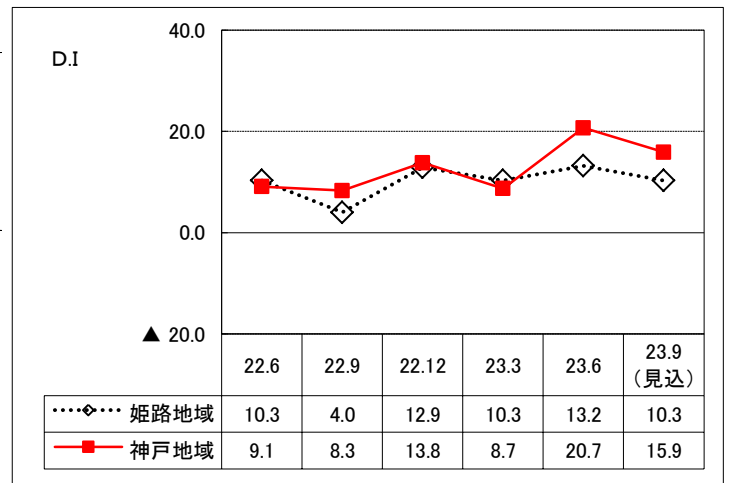
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは13.2、前期比2.9ポイントプラス（前年同期比+2.9）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは10.3、当期比2.9ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは20.7、前期比12.0ポイントプラス（前年同期比+11.6）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは15.9、当期比4.8ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



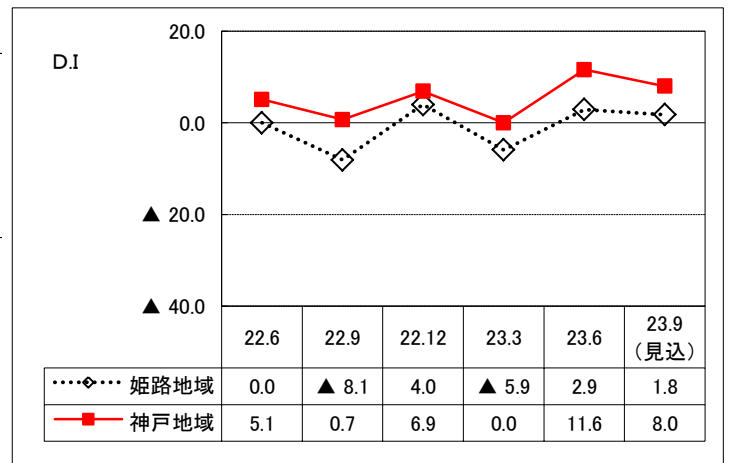
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは2.9、前期比8.8ポイントプラス（前年同期比+2.9）と好転しました。

来期予想D. Iは1.8、当期比1.1ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

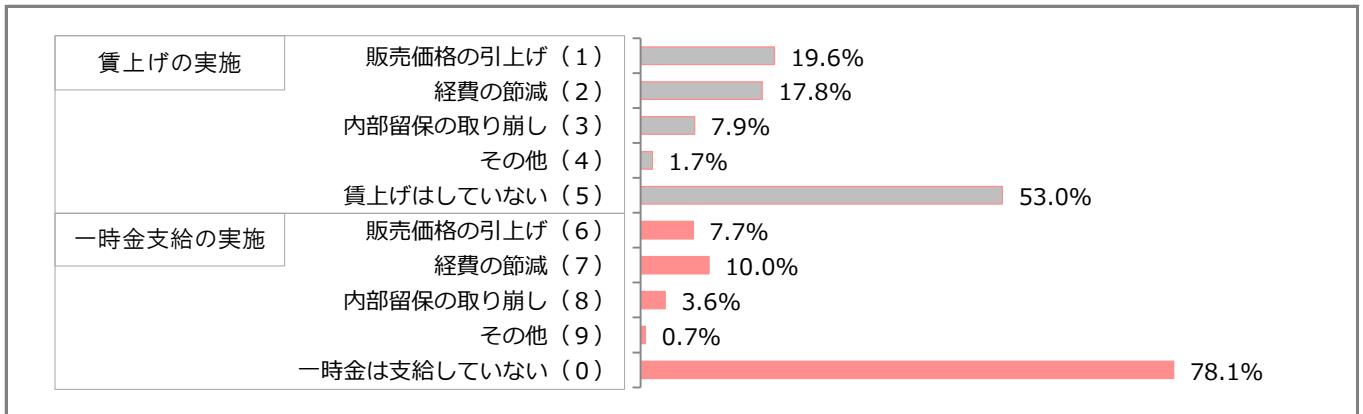
神戸地域の収益D. Iは11.6、前期比11.6ポイントプラス（前年同期比+6.5）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは8.0、当期比3.6ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



問1

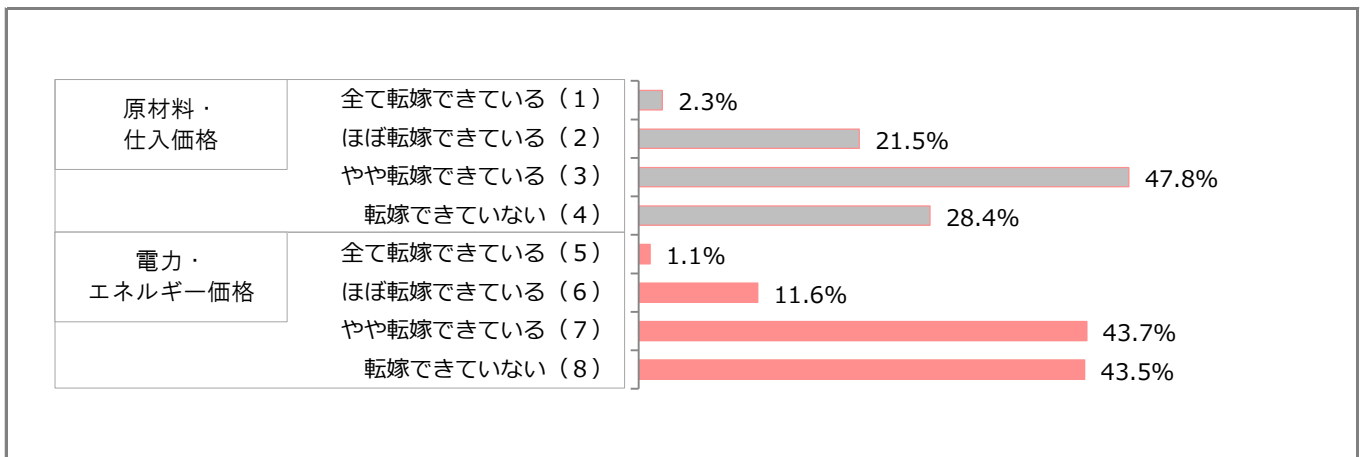
政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか。賃上げをした方は、その原資について1~4から、一時金の支給をした方は、その原資について6~9の中から選んでお答えください。賃上げや一時金の支給をしていない方は、5、0とお答えください。



「政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか」について、賃上げの実施、一時金支給の実施ともに「していない」が最多回答でした。

問2

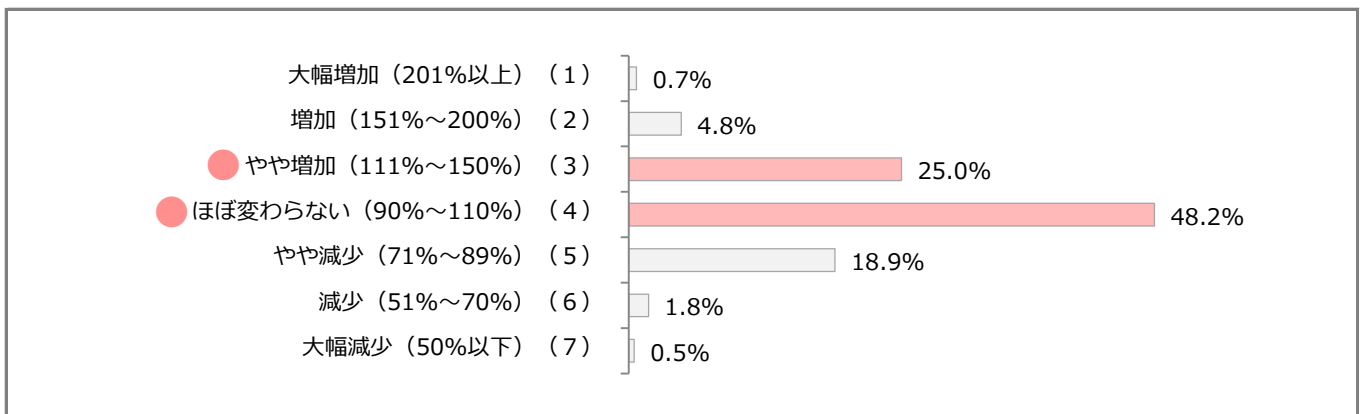
貴社では、昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁（上乗せ、値上げ）できていますか。「原材料・仕入価格」については1~4から、「電力・エネルギー価格」については5~8からそれぞれお答えください。



「昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁できていますか」について、原材料・仕入価格、電力・エネルギー価格ともに「やや転嫁できている」が最多回答でした。

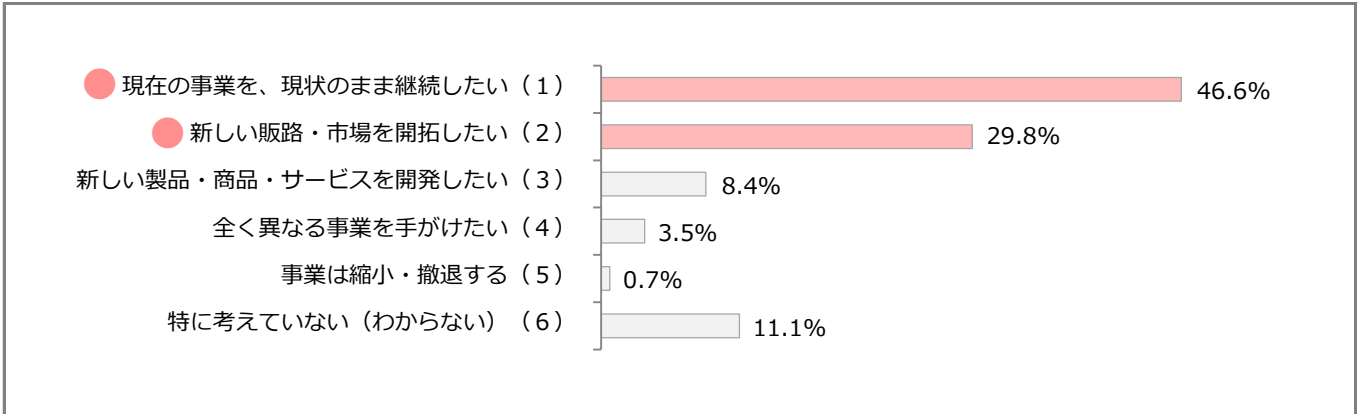
問3

新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前（およそ3年前）と比べ、どの程度となっていますか。次の中から1つ選んでお答えください。



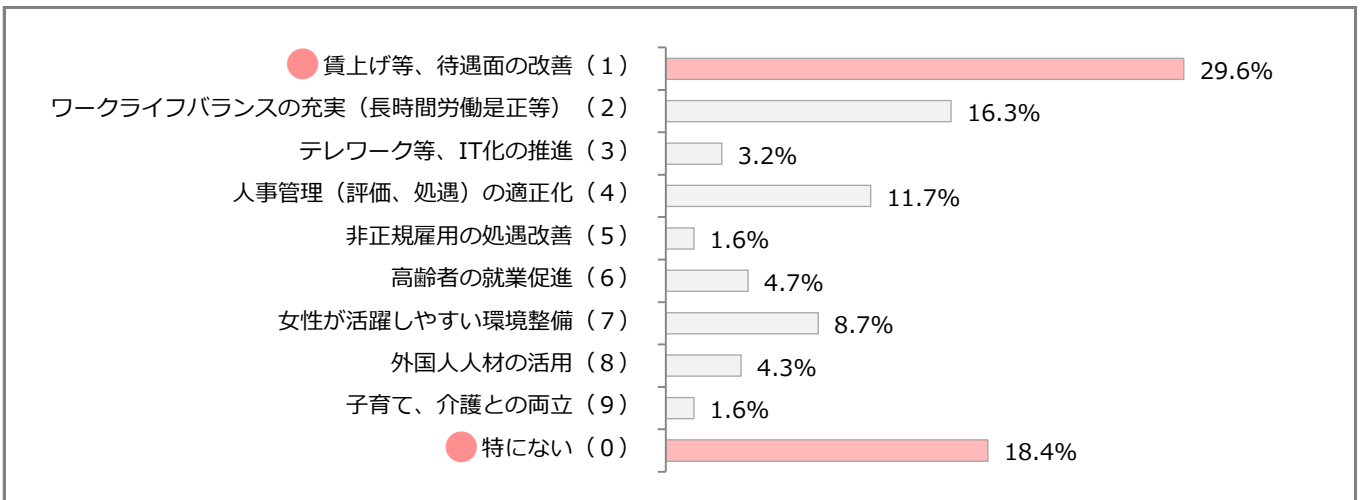
「新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前と比べ、どの程度となっていますか」について、「ほぼ変わらない」が最多回答、次いで「やや増加」という結果でした。

問4 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。以下の1～6の中から、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。



「3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか」について、「現在の事業を、現状のまま継続したい」が最多回答、次いで「新しい販路・市場を開拓したい」という結果でした。

問5 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。



「人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか」について、「賃上げ等、待遇面の改善」が最多回答、次いで「特にない」という結果でした。